

文理融合分析による大型古墳の 総合的研究 – 吉備の古墳を中心に –



Cylindrical *haniwa*



会場：岡山大学文化系総合研究棟2階共同研究室
(岡山大学津島キャンパス文化系総合研究棟)
日時：2026年3月8日（日）13：00～17：00

居島薫（山梨大学）「宇宙線ミュオンによる造山・作山古墳の透視観測の現状」
野坂俊夫（岡山大学）「吉備の埴輪の岩石学：原材料と焼成温度の推定」
木村理（大阪大学）「埴輪からみた吉備地域の巨大古墳 – 金蔵山・造山・作山古墳 –」
鈴木茂之（岡山大学）ほか「考古学・地質学・地盤工学共同研究による30年豪雨での造山古墳小斜面崩壊要因の検討」

- 主催:科学研究費基盤研究S「王陵級巨大古墳の構造分析に関する文理融合型総合研究」研究班
- 入場無料・申し込み不要
- 問い合わせ先: 岡山大学考古学研究室(清家：aseike@okayama-u.ac.jp)

クラウドファンディング×住友財団×岡山大学
楯築墳丘墓特殊器台修復記念展示会

私たちを見に来てください



楯築墳丘墓と特殊器台

会場 岡山大学考古資料展示室
(岡山大学津島キャンパス文化科学系総合研究棟1階)
入場無料・申し込み不要

日時 2026年3月15日(日) - 3月30日(月)
10:00 - 16:00 (休館日: 3月22日・3月29日)

主催 岡山大学考古学研究室

問い合わせ先 岡山大学考古学研究室(aseike@okayama-u.ac.jp)
(本展示会には住友財団修復文化財展示事業助成を使用しております。)

記念講演会

講師 宇垣匡雅氏

「楯築墳丘墓と前方後円墳」

2026年3月21日(土) 13:30 - 15:00

岡山大学文化科学系総合研究棟2階 共同研究室

無料・申し込み不要・先着順(100名)

楯築墳丘墓と特殊器台

発行：岡山大学考古学研究室



fig.1 主な出土遺物

ごあいさつ

楯築墳丘墓は弥生時代後期（2世紀後半）の墳墓です。弥生時代最大の墳墓であると同時に、前方後円墳の起源の一つとして、全国的に注目されています。調査から数十年が過ぎ、近年は、出土資料の中に劣化が認められる遺物も散見されるようになりました。

とくに特殊器台は、接合部分の劣化が激しく、修復が焦眉の急となっておりましたところ、住友財団から文化財維持・修復事業助成を、クラウドファンディングによって多くの方から支援をいただき、特殊器台の修復を行うことができました。そこで、このたび修復なった特殊器台をご覧いただく展示会を開催することにいたしました。ささやかな展示ですが、ご覧いただければ幸いです。住友財団とクラウドファンディングでご支援をくださった皆様に心より感謝申し上げます。なお、本展示は住友財団修復文化財展示事業助成を得て実施するものです。